



レストハウス営業 11月3日(木・祝)まで

旭山記念公園レストハウスは 10 時～17 時まで営業しております。

コーヒー、焼きそば、フライドポテト、肉まん、唐揚げ串、クッキー、ソフトクリームなどをご用意してみなさまのお越しをお待ちしております。



鳥たちの生活様式

野鳥はその生活様式により「留鳥」「漂鳥」「夏鳥」「冬鳥」「旅鳥」「迷鳥」の 6 つに分けられます。

今回はそれらについて少し詳しくお話します。(◎はその代表的な種名です)。

■留鳥(りゅうちょう) ◎アカゲラ、ハシブトガラ、ゴジュウカラ

1 年中同じ場所で見られる鳥で季節による渡りはしません。

ただし、北海道のシジュウカラやヒヨドリは一部が本州へ短距離の渡りをするのが知られています。

■漂鳥(ひょうちょう) ◎カケス、コガラ、ウソ

夏は山地で繁殖し秋に平地に降りて冬を過ごし春にまた山地に戻って生活をする、または春と秋に北海道内で短距離移動し夏と冬を違う場所ですごす鳥です。ただ最近はこの言葉を使わなくなる傾向にあります。

■夏鳥(なつどり) ◎キビタキ(右写真)、オオルリ、センダイムシクイ

春に北海道より南から渡って来て繁殖し秋に南に戻って冬を過ごす鳥です。

■冬鳥(ふゆどり) ◎ツグミ、ベニヒワ、オオワシ

秋に北海道より北から渡って来て冬を過ごし春にまた北に戻って繁殖する鳥です。

■旅鳥(たびどり) ◎マミチャジナイ、シロハラ、ムギマキ

北海道より北で夏に繁殖し南で冬を過ごすために移動する春と秋に短期間北海道で見られる鳥です。

■迷鳥(迷鳥) ◎サンショウクイ(本州以南では夏鳥)

本来は北海道では見られないものが台風などの偶発的な要因により見られる鳥です。

●「夏鳥」「冬鳥」「旅鳥」は地域により違う・・・例えばウグイス、メジロ、キジバト、キセキレイなどは北海道では夏鳥ですが、本州以南では 1 年中見られる留鳥であったり、北海道では夏鳥のベニマシコは本州では冬鳥、旅鳥のカシラダカは西日本では冬鳥というように同じ種でも見られる時期が地域により違います。

●「冬鳥」でもあり「漂鳥」でもあるアトリ科の鳥たち・・・ウソ、マヒワ、イスカなど一部のアトリ科の鳥たちは、札幌の平地では冬の間に見られる「冬鳥」です。

しかしそれらの中には、札幌市内も含め道内の山地で夏に繁殖し冬に平地に降りてくる「漂鳥」のものと、夏に北海道より北で繁殖し秋に渡って冬を過ごす「冬鳥」の個体群がいます。

シメは、北海道で夏に繁殖し冬を南で過ごす「夏鳥」のものと、北海道より北で夏に繁殖し秋に渡って来て冬を過ごす「冬鳥」の個体群がおり、結果として 1 年中見られる「見かけ上の留鳥」とでもいう鳥です。

●「夏鳥」で「旅鳥」・・・ルリビタキやクロジは、春に南から渡って来て旭山で短期間すごしてから山に登って繁殖、秋に山から降りて再び旭山で短期間過ごした後南に渡ってゆきます。

この場合、北海道としてみると夏鳥ですが、旭山というより狭い場所でみれば春と秋だけ見られる「旅鳥」ということになります。ビンズイやベニマシコも旭山では春と秋だけ見られます。

◎以上の例からみる通り、これらの分類はどこを基準として考えるかにより解釈が変わってきます。

北海道は全国版の図鑑と違うことが多いので、地元の情報と照らし合わせて観察することをお勧めします。

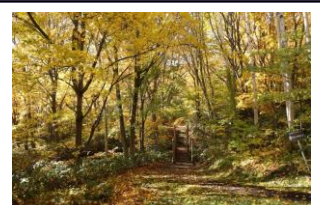
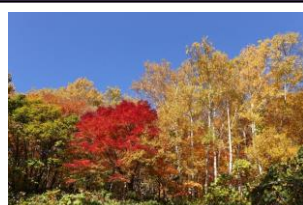


旭山の紅葉

旭山の紅葉今年はどうでしょうか？

10 月 20 日前後が見頃です。

昨年 2015 年 10 月 22 日撮影の紅葉の写真を 3 枚紹介します。



ミズナラのどんぐり大豊作だった

先月号でせっかくになったミズナラのどんぐりが台風で大量に落ちたと書きました。
しかしそれは杞憂、今年は大豊作で、場所によってはどんぐりを踏まないで歩くことが
難しいくらいびっしりと落ちています。
9 月中にはどんぐりが木から落ちる音が森のあちこちから聞こえてきました。



10 月の鳥の動き ～ 今年の冬鳥たちは？

- 10 月の鳥の動きをまとめました。
- ・ウグイス、アオジ、メジロ: 10 月中に南に渡り旭山では見られなくなります。
ウグイス「ヂツヂツ」、アオジ「チッ」いずれも笹藪の中、メジロ「チュリーチリ」と木の上でそれぞれ鳴きます。
 - ・ツグミ: おなじみの冬鳥ですが今年は 10 月 1 日時点でまだ確認していません。
 - ・マミチャジナイ: 10 月下旬から 11 月上旬に 1 週間ほど見られます。シロハラも少数見られることがあります。
 - ・ヒレンジャク: 例年 10 月下旬に初めて見られます。キレンジャクが混じっていることもあります。
 - ・ミヤマホオジロ: 10 月下旬から 12 月に短期間現れますが、
昨年は半月以上滞在していました。
 - ・ベニヒワ: 10 月下旬に現れ越冬しますが昨年はほとんど見られませんでした。
 - ・オオアカゲラ: 秋になると山から降りてきて公園内でも見る機会が増えます。
 - ・クマゲラ: 秋以降は「森の家」の近くに来ることが多くなり観察のチャンスです。
 - ・キバシリ: 秋に山から降りてきて冬の間旭山で過ごします。「シリッ」と鳴きます。
 - ・エナガ: 秋になると数羽の群れを見る機会が増えます。「チィチィ ジュルッ」と鳴きます。



「早朝野鳥観察会」と「定例自然観察会」次回の日時

☆「早朝野鳥観察会」2016 年 11 月 5 日(土) 7 時～9 時頃まで

参加費 100 円(保険代) 定員: 15 名(先着順) ※見られる鳥: カケス、アオジ、ウグイス、アカゲラ等

☆「定例自然観察会」2016 年 10 月 22 日(土) 9 時半～11 時半頃まで

参加費 100 円(保険代) 定員: 15 名(先着順) ※エゾノコンギク(花)、ツリバナ(実)等

※双眼鏡貸し出しします(無料)。数に限りがあるのでご希望の方は参加申込時にお申し付けください。

※この時期はまだダニがいる可能性があるので肌の露出が少ない服装でお越しください。

写真で見る旭山ミニ博物誌



メノコツチハンミョウ
(ツチハンミョウ科)

秋に地面で見かける青光りした昆虫。
翅が退化した甲虫類で飛べません。
雄は触角に大きな突起があります。



オツネトンボ

(アオイトトンボ科)

成虫で越冬するトンボで
「越冬」が名前の由来。旭山
では数が少ない種です。



ゲンノショウコの種子

(フウロソウ科)

通称「神輿草」

(みこしぐさ)。

種子の形が御神輿の上の
飾りに似ているため
こう呼ばれます。



サルナシ(コクワ)の実

(マタタビ科)

キウイフルーツの原種のひとつ。
旭山では少ないです。

編集 後記

先月号で、9 月にカケスが山から降りてくると話しました。
ところが今年は旭山で 9 月中にカケスを確認することができませんでした。
今年はどんぐりが豊作で山に食料がまだまだ多いことが考えられます。
カケスの情報は 10 月も引き続き追ってゆきます。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第 35 号 2016 (平成 28) 年 10 月 7 日発行

発行: (公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所: 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川 4 丁目

連絡先 電話 011-200-0311 (土・日・祝日 10 時～16 時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>